

令和5年度 愛知県高等学校名北支部指導者講習会

令和5年7月9日(日)に愛知県バドミントン協会指導委員会と高体連バドミントン専門部名北支部が協力して指導者講習会をおこないました。

場所は春日井泉高校の体育館で、指導者20名、生徒約60名が講習を受けました。生徒のレベルは初級者対象と定め、高校1年生が多数集まりました。(株)リーダースの紹介を経て、(株)ミズノに所属する森かおり氏が講師を務められました。

現在U-16代表のコーチを務められる森かおり氏のお立場より、世界で通用するバドミンントンの基礎を中心に講習がおこなわれました。具体的な内容としては、ステップを中心としたフットワーク、フロントコートへの動きを交えたノック方法、リアコートへの動きを交えたノック方法など基本的な動きとストロークを中心とした説明をおこなっていただきました。受講内容において特に印象に残った点は、「左足の使い方を考える」という説明でした。トップ選手でも思うように利き足ではない左足(ラケットフットとは反対側)は使用できないことで、ラリー中にシャトルの下へポジショニングすることが遅くなったり、安定してフットワークができなくなったりする原因となることを解説していただきました。

午前中のみ講習会ではありましたが、バドミンントンの専門的な内容がとても濃く感じ、学ぶ視点が多い講習会となりました。

今回のような試みを続けていき、指導者への情報発信をはじめ、名北支部の高校生の練習の質や技術が向上することに繋がれば幸いです。

指導委員会 立松

